

5 学校紹介

三 春 小 学 校

〒963-7759

TEL 0247-62-3101

三春町字大町 157

FAX 0247-62-3106

校 長 新田 勇雄

教 頭 藤井 千絵

E-mail miharu-e@fcs.ed.jp

児童数 312名

学級数 16

教職員数 33名（うち町費負担職員6名）

<学校の教育目標>

強く 正しく 美しく

「明德の精神」（くもりのない立派な特性）を基調とした、未来に生きる人間性豊かな子どもの育成

<本年度の重点目標>

「明日の夢や目標に向かって Let's Try!」

- | | |
|---------------|---|
| 明るく元気な子ども（強く） | 健康や安全に関心をもち行動できる子ども
目標をもち、あきらめないうで運動に取り組む子ども |
| 学び続ける子ども（正しく） | 主体的に取り組む課題を解決しようとする子ども
協同的に学習に取り組む子ども |
| 心をみがく子ども（美しく） | 自他のよさや違いに気付き、共に成長できる子ども
善悪の判断にもとづき自ら行動できる子ども |

<重点実践事項>

（強く） 1 心身の健康維持・増進

- 健康診断結果の活用 ○水泳・マラソン・なわとび等記録会に向けて家庭への健康調査
- 「命を大切にする」指導
- 2 体力の向上
- 運動身体づくりプログラムの確実な実行 ○体育授業及び体育的行事の充実
- 業間運動の奨励（持久走、外遊び、なわとび） ○新体力テスト結果の活用

（正しく） 1 「確かな学力」の育成

- 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくり
- 日常の授業の質的改善を図る授業研究会の実践
- 一人残らず学びに参加できる学習課題づくり
- 2 読解力の向上
- 「トライタイム」の計画的・効果的活用
- 言語環境の充実（「子ども新聞」や辞書の活用）
- 読書活動の推進（学校図書館、町図書館の活用）
- 3 各種テストの活用
- 知能検査・各種学力検査・Q-U検査などの実施と結果分析
- 結果を基にした授業改善、一人一人への指導

（美しく） 1 基本的な生活習慣と望ましい行動の定着

- 「三春小学校のきまり」についての共通理解・共通実践
- 日常的なあいさつの推進 ○優しい言葉・優しい行動の実践
- 2 教育活動全体を通した豊かな心の育成
- 特別の教科道徳の充実 ○異学年交流活動の充実
- 3 各種調査・教育相談の活用
- Q-U検査、アンケートの実施と分析 ○学級内における人間関係把握
- いじめ予防・早期発見 ○子どものよさの把握・共有

<地域人材や教材の活用による学習環境づくり>



岩江小学校

〒 963-7732

TEL 024-956-2120

三春町大字上舞木字大谷ツ 24

FAX 024-956-2226

校長 横田 和典

教頭 後藤 裕子

E-mail iwae-e@fcs.ed.jp

児童数 264名

学級数 14

教職員数 30名（うち町費負担職員7名）

<学校の教育目標・めざす児童像>

【教育目標】

心豊かな子どもの育成 ~いきいき わくわく え顔いっぱい 岩江っ子~

【めざす児童像】

思いやりのある子ども

本気で学ぶ子ども

たくましい子ども

<本年度の重点目標>

- きまりを守り、思いやりのある行動がとれる子ども
- 主体的に学習に取り組み、友だちと学び合う子ども
- 進んで身体をきたえ、健康な身体を作る子ども

<特色ある教育活動>

1 前向きに、粘り強く学習に取り組む児童の育成

- (1) 自分から「チャレンジ」「思いやり」を合い言葉に、教育活動全体の中で継続的に指導する。
- (2) 「働きかける→待つ→称賛する」により「自己肯定感」「自己有用感」を育成する。
- (3) 基本的な生活習慣を粘り強く指導する。(早寝・早起き・朝ご飯)
「できることをきちんとやる。当たり前のことを当たり前にする。」

2 自他のよさを認め合い、様々な人と関わりながら協働する力の育成

- (1) 道徳の時間を主として日常的な道徳教育の充実
- (2) 清掃や「いきいきタイム」での縦割り班活動の工夫
- (3) 運動会や「岩江っ子発表会」など、個や学年集団の良さを生かした魅力ある学校行事の実践

3 校舎の空間的ゆとりを生かしたグループ学習や課題解決学習の推進

- (1) 学習指導要領の趣旨に基づき「主体的・対話的で深い学び」のある授業を追究する。
 - ・課題解決型学習の推進 ・ICTの活用、学習センター・Eルームの活用
 - ・「ジャンプの課題（発展的な問題）」の設定、互見授業を中心とした教員研修の充実
- (2) 三春町授業づくりサポーター・コーディネーターからの助言を生かし、どの子どもも本気で学ぶ授業の実現を目指す。
- (3) 朝学習の時間を確保し、基礎学力向上を図るとともに、学習センターの機能を生かした図書環境作りの工夫により、読書活動の推進（おすすめ20冊）により読書の幅を広げる。
- (4) 『家庭学習の進め方』『学習ファイル』を効果的に活用し、学習習慣の確立を図る。

4 学校運営協議会等との連携を図った、地域人材を活用した授業・教育活動の推進

- (1) 「岩江」に郷土愛と誇りを持ち、地域に根ざした子どもを育成する。
- (2) 地域の人・物・事・歴史・伝統・文化・自然等を生かした教育活動を推進する。



「元気か〜い!」による
1年生給食ボランティア



5年生総合「ファームパークいわえ」
稲の観察・稲刈り体験



2年生・4年生 木工教室
今年の干支の置物作り

御木沢小学校

〒963-7761

TEL 0247-62-3368

三春町字樋ノ口111

FAX 0247-62-3384

校長 遠藤 謙一

教頭 大堀 潤也

E-mail ogisawa-e@fcs.ed.jp

児童数 81名

学級数 8

教職員数 20名 (うち町費負担職員4名)

<学校の教育目標>

－夢や希望をもって、未来をひらく児童の育成－

- ◎ よく考える子ども（かしこく）
- ◎ 思いやりのある子ども（やさしく）
- ◎ たくましい子ども（たくましく）

<本年度の重点目標>

- 進んで学習に取り組み、協働的に学び合いながら課題を解決できる子ども
- 思いやりの心をもって相手と自分を大切に行動できる子ども
- 進んで運動し、最後まで粘り強く取り組む子ども

<現職教育のテーマ>

「全員が学び合い、育ち合う教室をめざして」

～聴き合う力を高め、児童をつなぐ工夫～

学校の教育目標から本年度の重点目標・本校のテーマへつなげて

かしこく→困ったときは、自分から教えてほしいと言える

やさしく→出会った仲間とケアの関係で結ばれて学ぶ

たくましく→難しい問題に友だちや資料とつながり、最後まで学び続ける

<特色ある教育活動>

1 学力の向上

- (1) 主体的に学習する態度や自己マネジメント力の育成
 - 主体的・対話的で深い学びとなる授業の充実
- (2) 「学びの改革」による資質能力の確実な育成
 - 「協働的な学び」「探究的な学び」をめざす授業改革
- (3) 特別支援教育の充実
 - 自己理解を促進する支援の推進
- (4) キャリア教育の推進（キャリア・パスポートの有効活用）
 - 郷土に触れる体験や地域の人材・教育資源等を活用した地域学習の推進

2 豊かな心の育成

- (1) 自己有用感や自己肯定感を高める活動の充実
 - 一人ひとりのよさを認め尊重し合い、「居場所」のある学級集団の育成
- (2) 相手の気持ちを考え、誰とでもなかよくできるやさしい心情の涵養
 - 場に応じた挨拶と言葉遣いの育成
- (3) 感謝の心を育む体験活動の充実とコミュニケーション能力の育成
 - 地域の方々とのふれあい活動の推進（学童田での活動等）

3 たくましい心と体の育成

- (1) 体育の充実と体力の育成
 - 運動の楽しさやできた喜びを味わうことのできる指導と支援の充実
- (2) 健康で安全な生活ができる健康マネジメント力の育成
 - 基本的な生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき等）
- (3) のりこえる力（レジリエンス）の涵養
 - 困難を乗り越えるための支援・指導の充実



<1年生を迎える会>



<ふれあい発表会>



<スケート教室>

中妻小学校

〒963-7724

TEL 0247-62-3246

三春町大字沼沢字神ノ上 139

FAX 0247-62-3254

校長 白岩 新一

教頭 後藤 慶子

E-mail:nakatsuma-e@fcs.ed.jp

児童数 46名

学級数 6

教職員 19名 (うち町費負担職員4名)

<学校の教育目標>

「豊かな心をもち、よく考え進んで表現できる、心身ともにたくましい、実践力のある児童の育成」

<本年度の重点目標>

- (情) 【**な**かのよい子】思いやりの心をもち、友達のよさを認め合える子どもの育成
- (知) 【**か**んがえる子】友達と学び合い、自分の考えを豊かに表現する子どもの育成
- (体) 【**つ**よい子】めあてに向かって身体をきたえ、健康な心身をつくる子どもの育成
- (意) 【**ま**じめな子】進んで行動し、最後までやり抜く子どもの育成

<特色ある教育活動>

- 1 思いやりの心をもち、友達のよさを認め合える子どもの育成
 - (1) お互いに理解し、寄り添う人間関係の醸成
 - グループやペアの支え合いを基盤とした学級づくり
 - あいさつの励行と望ましい言語環境づくり
 - 学級や縦割班を基盤にした集会活動の充実
 - (2) 「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の推進
 - (3) 発達支持的な生徒指導の推進(生徒支援)
- 2 友達と学び合い、自分の考えを豊かに表現する子どもの育成
 - (1) 主体的に学び合う(聴き合う)協同的な学びの推進
～主役が子ども・教師が引き取らない授業づくり～
 - 大胆な授業デザインのジャンプの課題の設定
 - 「わからない」を始まりとした教師の足場かけ
 - 校内研修、校外研修等による自己研鑽
 - (2) 豊かな学びを支える教育環境づくり
 - (3) 自己マネジメント力を育む家庭学習の充実
- 3 めあてに向かって身体をきたえ、健康な心身をつくる子どもの育成
 - (1) 運動の日常化と体力の向上
 - 体力向上推進計画に基づく取組の推進
 - 「1日60分運動」の推進
 - 水泳、マラソン、なわとびによる体力向上の指導
 - 《改訂》運動身体づくりプログラムの自校化と活用
 - (2) 健康教育の推進
 - (3) 健康的な生活習慣の確立(自分手帳の活用)
- 4 進んで行動し、最後までやり抜く子どもの育成
 - (1) 自己肯定感とレジリエンスを高める認め励ます教育
 - (2) 自己有用感と生きる力の基盤を育む特別活動の充実
 - 主体性とよりよい人間関係を育む学級活動(1)の推進
 - 主体性と集団への所属感を高める児童会活動の推進
 - 個性の伸長や協調性を育むクラブ活動の推進
 - 社会性、協調性、自己肯定感を育む学校行事の推進
 - (3) 中妻地区を誇りに思う、ふるさと学習の推進



<学び合う授業づくり>



<ダンス教室>



<もちつき>

中郷小学校

〒963-7713

TEL 0247-62-3091

三春町大字柴原字神久保 235

FAX 0247-62-3095

校長 大河原 康隆

教頭 武口 文子

E-mail nakasato-e@fcs.ed.jp

児童数 22名

学級数 3

教職員数 14名（うち町費負担職員5名）

<学校の教育目標・目指す児童像>

心豊かで自立的精神に満ち、未来を生きる「輝く子ども」の育成

「輝くところ、輝くひとみ、輝くからだ」をもつ子ども

<本年度の重点目標>

- 1(輝くところ):自分や相手のよさを認め合う子どもの育成
- 2(輝くひとみ):自ら考えて学びに向かう子どもの育成
- 3(輝くからだ):運動に親しみ心身ともに健康で元気な子どもの育成

<現職教育のテーマ>

「主体的・対話的で深い学び」に向かう児童の育成～児童の読解力を育む指導を通して～

<特色ある教育活動>

- 1『豊かな心の育成』のために、命や自然に関わる活動や音楽及び読書に親しむ活動を実践する。
 - (1) 自他を見つめるふれあい活動の工夫とあいさつ運動の展開(異学年交流、他校交流、集会活動、児童会活動)
 - (2) 児童の「よさや強み」を大切に自己肯定感を育む指導
(自己マネジメント力の育成、生徒指導協議会での共通理解、指導法の研修)
 - (3) 「なかさとっ子キャッチフレーズ」による生活習慣・学習習慣の育成と家庭との連携の工夫
(テレビ・ゲームの時間、読書、宿題・自主学習)
 - (4) 特別の教科道徳と各教科等との関連を図った指導の充実と家庭・地域との連携(別業活用、道徳授業参観)
 - (5) 調査結果を活用したよりよい人間関係形成の指導(二者面談、教育相談、心のアンケート、SST)
 - (6) 地域への誇りと愛着を育む地域学習の充実と閉校まで残り1年を見通した人・もの・ことを生かした教育活動の立案(地域素材・人材、中郷学校[コミュニティスクール])
 - (7) 滝ザクラに関わる学習を充実させ6年間を見通した教育活動の展開(滝ザクラを守る会)
- 2『確かな学力』を定着させるために、一人一人の読解力の育成を核とした学力向上を図る。
 - (1) 児童の自主性・主体性を育む教育活動を展開し、「主体的対話的で深い学び」を実現する授業改革の推進
 - (2) 学ぶ意欲を育てる問題解決学習、価値ある体験活動の工夫(素材、課題づくり、単元づくり)
 - (3) 自分の考えをもたせ、表現・交流する場の工夫(協同的な学びの推進、書く活動、言語活動の充実)
 - (4) 基礎的・基本的事項の定着を図る活動の工夫(朝の活動、ドリルタイム、アプリ学習、協力・支援体制)
 - (5) 読書に親しませ、本からの感動や情報を学習に生かせる読書活動の推進及び読解力の向上
 - (6) 個々の実態に応じた特別支援教育の充実(個別の指導計画、インクルーシブ教育の推進)
 - (7) 少人数学級の実態を考慮した学習形態や指導方法の工夫・改善とカリキュラムマネジメント
 - (8) 複式学級における複式指導や全校合同学習など、全教職員での組織的な対応
- 3『健康・体力の向上』のために、体育や保健・食に関する教育の充実を図る。
 - (1) 水泳・陸上・持久走・縄跳びなど年間を通した運動の実践(記録会、記録カード)
 - (2) 授業における運動身体づくりプログラムの継続的実践(運動身体づくりプログラム)
 - (3) 体調管理能力を高める健康指導・心の健康相談の充実と食育の推進(学校医等専門家・養護教諭・栄養教諭とのT・T)
 - (4) 自分の体や体力を知る時間の工夫(自分手帳)
 - (5) 自分の命は自分で守る安全学習の充実と訓練の実施(自助・共助、交通事故、火災、地震、不審者対応)



4月滝ザクラを守る会PR活動



6月滝ザクラの種の採取



11月滝ザクラの苗植え

沢石小学校

〒 963-7782

TEL 0247-62-3725

三春町大字富沢字石田68番地

FAX 0247-62-3774

校長 伊藤 七重

教頭 菅野 貴

E-mail sawaishi-e@fcs.ed.jp

児童数 32名

学級数 5

教職員数16名（内町費負担職員5名）

<学校の教育目標・めざす児童像>

豊かな心や人間性・社会性を培い、協働しながら主体的に学びに向かい、心身ともにたくましい実践力のある子どもを育成する。

- ・自ら学び続ける子ども
- ・自らつながり合う子ども
- ・自ら身体をつくる子ども

<本年度の重点目標>

◎「子ども一人一人が、自分のよさや可能性を見つけ、他者と尊重し合い、多様な人々と協働しながら、自らの人生を切り拓く力を育成する。」

- 主体的・対話的で深い学びによる確かな学力の育成
- インクルーシブ教育の考え方に基づく人間性・社会性の育成
- 心身の健康に関する自己管理の育成

<現職教育のテーマ>

子どもの学びの姿から教師が学び、子どもの「主体的、対話的で深い学び」を創る。

<特色ある教育活動>

1 全校生で取り組む活動

(1)「フレンド班（縦割り班）」による異年齢集団活動

フレンド歓迎会 フレンド清掃 フレンドタイム（遊びを通じた交流）

フレンドお別れ会 滝ザクラ見学ツアー等

(2)冬の元気っ子活動（スケート教室）の実施

2 自ら学び続けるために～授業改善への取り組み～

- (1)児童の学びを見とる力を高める研修の継続と授業づくり・授業改善
- (2)誰一人取り残さず学びに参加する課題づくり
- (3)協働の学びのある授業の構築と個に応じた指導による学力の向上

3 自らつながり合うために～インクルーシブ教育の推進～

- (1)お互いを認め合うあたたかな学級づくりと交流及び共同学習の実施
- (2)フレンド班による異学年交流を通し、思いやりや学びの心の成長を促進

4 自ら身体をつくるために～自己管理能力の育成～

- (1)校内の各種記録会（水泳記録会・持久走記録会・なわとび記録会）を設定し、年間を通した運動を奨励。運動に親しみ目的を持って取り組もうとする意識を高める。
- (2)新体力テストから実態を把握し、その結果から各自に目標を持たせたり、よさや可能性を認め伸ばしたりする指導を通して、課題を考え解決する力を育む。
- (3)自分手帳の年間を通した活用により、自己の健康や食生活を振り返ると共に、むし歯治療率の向上と肥満解消に向けた個別指導を充実する。
- (4)家庭との連携を通したノーディスペレイダーの推進や養護教諭とのTT授業等による健康・食育指導を実施する。



<フレンド班での各種活動>



<全校生でのスケート教室>

三 春 中 学 校

〒963-7719

TEL 0247-62-2181

三春町大字貝山字泉沢110-4

FAX 0247-62-6978

校 長 佐藤 知巨

教 頭 鈴木 健

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

生徒数 283名

学級数 12

教職員 33名（うち町費負担職員6名）

<学校の教育目標>

「三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる。」経営方針を「共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに」とし安全・安心、思いやりの心を大切にともに学び、学力の向上をめざす。

<めざす生徒像>

- 「忠恕」＝「うるわしい心をもつ生徒」
- 「探究」＝「夢に向かって学び続ける生徒」
- 「必達」＝「心身を鍛え、未来を切り拓く生徒」

<特色ある教育活動>

- 本校は2学期制をとり、その中で年間の流れを5つの活動区分期に分け、期による目標の明確化と意欲づけを図る。
「出会い・決意期（第Ⅰ期）」「努力・熱中期（第Ⅱ期）」「挑戦・向上期（第Ⅲ期）」
「感動・継承期（第Ⅳ期）」「夢作り・感謝期（第Ⅴ期）」
- 「学年型教科教室」の特長を最大限に生かし、「連携・コミュニケーション」を重視した教育活動、「4人を基本としたグループ学習」を展開する。
 - 1 教科教室型の学校運営方式の特長
 - (1) 教科教室型は「受ける授業」から「自分から進んで行う学習」へ転換できる。
 - (2) 教科独自の学習環境が整えられ、「わからないこと」が学べる教科学習が期待される。学習への意欲を高め、学びに連続性をもたせることができる。
 - (3) 『移動する』生活形態を積極的に受け止め、生徒指導の原理である「主体性」「自立心」を育むきっかけとする。
 - (4) 教師間の「連携・コミュニケーション」を強く意識し、共通理解のもと授業を第一優先にした学校づくりを行う。
 - 2 生徒一人ひとりの学びを保障
 - (1) すべての生徒が潜在的にもっている力（思考力、探究力）を学校のエネルギーに変えていく。
 - (2) 教師は生徒の言葉を「聴く」ことに努め、生徒の学びを見とることを大切にす。 「聴き合い、学び合い」の関係を教室に築き、協同的学びを生み出す。
 - (3) 教師は主体的・対話的で深い学びをイメージし共有する。生徒が安心して自分の思いを述べ合い、受け入れ合える受容的なグループ学習、課題解決型学習を行う。
 - 3 「命の輝き」「生き方」「心豊かに」に関わる学習活動の充実
 - (1) 総合的な学習の時間充実・・・「ふるさと三春」を誇りに
「郷土学習」「キャリア学習」「SDGs（持続可能な社会の実現）」「食育」
「課題解決学習」「放射線教育」
 - (2) 食育と体力の向上・・・総合的な学習の時間、保健体育、家庭、学級活動
 - (3) 豊かな心・感性の育成・・・本物の芸術に直接触れる機会の設定
「芸術鑑賞教室・プロとの共演」「ギャラリーコーナー」「外部講師による指導」



<グループ学習の授業研究>



<芸術鑑賞教室、プロとの共演>



<SDGs学習マリエルイズ氏講演会>

岩江中学校

〒963-7732

三春町大字上舞木字向田 53

TEL 0247-62-8290

FAX 0247-62-8380

E-mail iwae-j@fcs.ed.jp

校長 高橋 宏信

教頭 八木沼 英明

生徒数 121名

学級数 7

教職員数 21名(うち町費負担職員2名)

<学校の教育目標> 『自立』

～『自立』にせまる4つの視点とめざす生徒像～

- 真理…学ぶ意義を理解しながら進んで学習し、「学ぶ楽しさ」・「わかる喜び」を追求する生徒
- 博愛…人間としての生き方を追究し、「思いやりの心」をもって行動する生徒
- 健康…豊かでたくましい心と身体づくりに努め、健康で安全な生活環境の実現をめざす生徒
- 貢献…社会のため、人のために役立ち、「生きる喜び」を味わえる生徒

<経営の基本方針>

「未来に向かってたくましく自立する生徒のために」

<本年度の重点目標>

◎「キャリア教育の推進」

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応力
- キャリアプランニング能力

1 学習指導の確立

- 基本的学習習慣の確立
- 安心して学べる授業づくり
- 魅力ある教科教室経営

2 心の教育の充実

- 基本的生活習慣の確立
- 道徳教育の充実
- 豊かな体験活動の推進

3 健康・安全教育の充実

- 健康マネジメント力の育成
- 体力・運動能力の向上
- 防災教育の充実

4 主体性を育む指導の充実

- 「自立」を促す生徒指導の実践
- 「自立」を促す特別活動の実践

<特色ある教育活動>

1 主体的学びの意識づくり

- 教科センター方式の指導のメリットを十分に生かし、各教室のデザインを基にした各教科の学習内容に応じた環境整備や魅力ある動線を設計し、生徒が主体的に質の高い学びを実現できる空間づくりをめざす。
- 「ホワイトボード」の活用・充実に図り、主体的行動のできる生徒を育成する。
- 「ノーチャイム」の意義を再確認し、時と場を主体的に管理する生徒を育成する。

2 積極的な学校開放

- 学校を地域・保護者に開放する毎月第2週の「学校オープンウィーク」や、11月の福島県教育週間「学校へ行こう週間」にも関連させて、文化祭・公開授業・授業参観・教育相談を実施し、学校を理解してもらおうと共に、学校・家庭・地域が一体となって、生徒を育成しようとする雰囲気醸成する。

3 地域の教育資源の活用

- 職場体験、福祉体験学習、全校ボランティア活動の開催。
- 「岩江まちづくり協会」と連携した地域との交流学習の推進。

4 防災教育の充実

- 「岩江地区自主防災会」と連携した活動を通して、地域貢献の意欲を醸成する。

5 道徳教育の充実

- 全校道徳や学年道徳、ローテーション道徳の実施による道徳の「実践化」をめざす。

6 ガイダンス機能を生かした見通しとゴールの提示

- 年度初めに新入生を対象に学習や生活面での「岩江中ガイダンス」を行い、生徒が見通しを持って活動できるようにする。

7 学習コンテストの実施

- 全学年3教科(国語・数学・英語)の学習コンテストを各1回計3回実施し、基礎的な学力の定着と学習意欲の向上を図る。



児童生活センター

1 基本方針

放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱に基づき、放課後児童健全育成事業の「児童クラブ事業」及び放課後子ども教室推進事業の「放課後子ども教室事業」において、異学年間の交流と様々な体験活動や地域住民等との交流を通して、心豊かにたくましく自信と意欲をもって生活することができるよう、子どもの健全な育成を図る。

[目指す子どもの姿]

がんばる子ども

考える子ども

仲良くする子ども

○ 児童生活センターの役割

- ① 健全な遊びを通して、子どもの集団的・個別的指導
- ② 子どもの個性的な生活時間の活用・充実に関する事業
- ③ 地域の人々が、ボランティアとして運営に参画
- ④ 学校、地域社会、家庭とのつながりを深める事業
- ⑤ その他、設置の目的を達成するために必要な事業

2 推進事業

(1) 児童クラブ事業（放課後児童健全育成事業）

① 利用児童

- 保護者が就労等により放課後留守になる家庭の児童で登録制

② 実施場所等

- わんぱくクラブ(三春小学校西校舎1階・2階で実施)

定員120人 年間265日

- 岩江児童クラブ(岩江児童クラブ施設で実施)

定員120人 年間252日

- 御木沢児童クラブ(御木沢小学校体育館で実施)

定員 30人 年間251日

③ 活動支援組織

- 各児童クラブ保護者会

④ クラブ事業

- 異学年集団など、仲間との人間関係を広げる事業
- 子どもの自主的・自治的活動体験を豊かにする事業
- 地域の関係団体や地域住民との交流を図る事業

⑤ 地域に拓く事業

土曜日の事業として下記の事業を実施

- ボランティア活動・ミニシアター（年4回）
- 料理教室（小学校2年生以上、年6回）
- おりがみ教室（小学校2年生以上、年4回）
- 理科クラブ（年6回）
- 体育館で遊ぼう（年6回）

(2)放課後子ども教室事業（放課後子ども教室推進事業）

① 利用児童

- 全小学校区6小学校の全児童対象（登録制）

② 実施場所等

（R8.4.1現在）

- まほらっこ三春教室（三春小学校西校舎） 登録55人 年間183日
- まほらっこ岩江教室（岩江小学校体育館） 登録29人 年間179日
- まほらっこ御木沢教室（御木沢小学校音楽室） 登録9人 年間149日
- まほらっこ中妻教室（中妻地区公民館） 登録37人 年間200日
- まほらっこ中郷教室（中郷地区交流館） 登録20人 年間200日
- まほらっこ沢石教室（旧沢石地区福祉館） 登録31人 年間200日

③ 活動支援組織

- 地域ボランティア
コーディネーター・安全管理員・活動指導員
- 会計年度任用職員

④ まほらっこ教室事業

- 異学年・地域間交流、自由遊び、学習活動、体験活動
- 放課後や長期休業期間における子どもたちの安全・安心な居場所づくり

3 放課後子ども総合プラン推進事業運営委員

（任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日）

佐久間 覚	渡辺 悟	本田 治夫	安齊 純代	橋本 瑛作
過足恵里奈	白岩 新一	細川 千鶴	増子 房代	吉川 久三
津野 綾子	渡部 友紀			

地域に拓く事業：理科クラブ(草木染め)



児童クラブ：活動の様子



まほらっこ教室：季節の工作教室



まほらっこ教室：絵本の読み聞かせの様子



Ⅲ 生涯学習課

生涯学習グループ



〈三春交流館「まほら」〉

1 基本方針

今、世界全体が、持続不可能な社会から持続可能な社会へ向かう大きな転換点であり、2030年を目標年次としたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に取り組んでいる。その達成に必要な「ひとづくり」を担うESD（持続可能な開発のための教育）により、誰もが「社会に参画する力」「共に生きる力」「つなぐ力」を育み、持続可能なまちづくりのために「全員参加型の生涯学習社会」を目指していくことが重要である。未来の三春町の持続可能な生涯学習社会の実現に向けて、町民一人ひとりへの「学びへの支援」、「学びの機会の提供」のための学習支援を推進する。

さらには、多様化、複雑化した地域課題や生活課題などに対応するための学習機会を提供することにより、町民自らがまちづくりの担い手として活躍できるよう、一体となってまちづくりを推進する。

2 推進事項

(1) 学びたいときにいつでも学べる環境づくり

○ 三春交流館「まほら」や地区交流館、国際交流館「ライスレイクの家」、さくら湖自然観察ステーションなどを拠点とした学習活動を支援し、町民に学びの場の機会を創出するとともに情報を集約し発信していく。また、自己実現に向けた「学び」へのきっかけづくりを推進する。

① 町民のニーズを生かした講座の開催

歴史講座・ツリークライミング・古典文学講座・親子料理教室・Instagram講座等

② 高齢者学級の充実

明德大学、各地区で高齢者学級を開催

③ まほらミュージックプロジェクトの開催（4事業を計画）

④ 学習成果発表の場の提供

三春町文化祭（10月から11月に開催）

⑤ 文化部活動団体への支援

⑥ デジタルを活用した学習環境の整備

(2) 多様な団体との連携と協働の推進

○ 社会情勢を的確に捉え、解決に向けた取り組みをするためには多様な団体と連携・協働し、共通認識を持つことが必要である。人と地域の「つながり」を構築するために、まちづくり協会や民間団体などと協力し、地域生活において社会全体で取り組むべき課題に焦点を当てた学習を促進していく。

① 三春交流館運営協会と連携した芸術鑑賞（4事業）

② 三春町国際交流協会と連携した国際交流事業

三春町青少年国際理解教育推進事業を実施

2026アメリカ短期留学開催（隔年）

- ③ 三春ダム等と連携した自然環境学習
小学生を対象としたさくら湖自然教室（7月開催）
- ④ 高齢化、環境問題、家庭教育支援、人権問題、消費者問題等学習機会の提供
- (3) 学習成果を地域の活動に生かす実践機会の促進
- 町民が学習した内容を地域活動の中で生かせる機会を提供し、様々な世代と交流を持つことで生きがいづくりを支援する。
- ① 生涯学習人材ガイドの利活用推進
- ② 生涯学習支援者としての参加促進
- (4) 生涯学習グループ管理施設の維持管理
- 三春交流館「まほら」をはじめ各施設の長寿命化計画に沿った適正な施設管理を行い、町民の文化芸術、生涯学習活動の拠点として活用する。

3 三春町生涯学習グループ所管委員会

【三春町社会教育委員】

- 三春町の青少年及び成人に対して行われる教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、その他関係者に対し、助言と指導を行う。

（任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日）

渡部 友紀	佐久間美智子	橋本 佳知	佐久間幸彦	高橋 宏信
-------	--------	-------	-------	-------

【三春町生涯学習を進める町民会議】

- 町民の意見を行政に反映させ、町民の生涯学習の普及・推進を図る。

（任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日）

平山 聡	佐久間健男	永谷 政光	鹿又 喜一	壁寸 芳男
渡辺 勝安	高橋 市太	佐久間和守	佐久間 眞	新田 信二
久保田武義	大津 早苗			

【三春町青少年問題協議会】

- 青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の事項について、調査審議する。

（任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日）

先崎 正之	永井 久	岡崎 美加	佐藤 知巨	穂本 哲哉
村上 正義	吉田 信子	榎本 文恵	細川 千鶴	橋本 和子
菊地 貞一	坂本 浩之	渡辺 和也		

【さくら湖自然観察ステーション企画運営委員】

- 展示室の常設・企画展、自然環境保全に対する啓発、自然生態系・天体観測に関する学習・研修への援助をする。

（任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日）

佐々木浩一	武地 優子	野中 敏光	影山 博	山口登美男
熊澤 一正	福岡 道子	吉田 富夫		



社会体育グループ

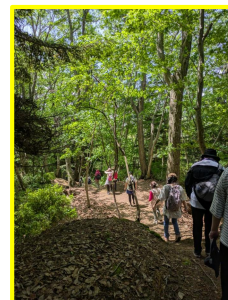
1 基本方針

スポーツを通して「Well-being」な社会を実現できるよう支援するため、いつでもどこでもだれもが気軽にスポーツができる機会・場所の提供と環境を整備する。

(1) 各種スポーツ大会や教室、アウトドアアクティビティなどのスポーツ活動を通して心身ともに健康な町民を育成するため、町民が広くスポーツに親しめる機会と環境の充実を図る。

(2) 町民のスポーツ振興・拡充の推進を図る。

(3) 町民が安心してスポーツに親しめるよう、社会体育施設の充実を図る。



〈三春まちなかトレッキング〉

2 推進事項

(1) 社会体育事業の振興、各種スポーツ大会・教室等の充実

① 三春町スポーツ推進委員による社会体育事業の推進

○ 三春町スポーツ推進委員（12名）による社会体育事業推進を検討するための委員会を開催し、町スポーツ事業等に協力するとともに、町民へのスポーツ実技指導を行う。

【三春町スポーツ推進委員】（任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日）

柳沼 孝則	三瓶 清友	渡邊 清平	渡辺 昭好	佐久間伊一
橋本由香里	近内 正一	過足 奈美	吉村久美子	門馬喜美子
大桃 亮子	渡辺 修宏			

○ だれもが気軽に参加でき、健康増進を目的としたスポーツ・レクリエーション教室などを開催し、町民がスポーツに親しみやすい環境・機会づくりを行う。

② 町民参加型のスポーツ大会・教室の開催

○ 各種スポーツ大会・教室を開催し、町民にスポーツ活動のきっかけや参加する機会を提供する。

○ 三春まちなかトレッキング

・期日：5月17日（日） 開催場所：旧三春中学校～三春駅

※ 町内の文化財名所と旧跡を巡りながら、健康増進・体力向上を目的として開催する。

○ 第28回さくら湖マラソン大会

・期日：6月14日（日） 開催場所：中郷小学校、三春ダム周辺

※ 美しい三春ダム周辺の自然のなかを走ること健康増進、青少年の健全育成及び体力向上を図り、スポーツイベントを通じて交流の輪を広げ、自然と共存・共栄している魅力ある三春町を発信する。

○ 第48回町民ソフトボール・家庭バレーボール大会

・期日：9月27日（日） 開催場所：三春町運動公園

※ スポーツに親しみ、健康増進と体力の向上を図り、町スポーツ振興と地域間親睦交流を図ることを目的として開催する。

○ うつくしま・みずウオーク三春大会（うつくしま・みずウオーク実行委員会）

- ・期日：9月12日（土） 開催場所：さくら湖周辺
- 町民トレッキング教室 ・期日：10月4日（日） 開催場所：一切経山
※ 町民の健康増進・体力向上を目的として実施する。
- ニュースポーツ教室 ・期日：10月31日（土） 開催場所、
内容：町民第2体育館
※ 年齢や運動経験に関係なく、町民の誰もが気軽に参加できる健康増進を目的としたスポーツ・運動教室を開催する。
- 町民スキー教室 ・期日：1・2月 開催場所：沼尻スキー場
※ 三春町スポーツ少年団と共同で開催し、子どもから大人まで初心者でも楽しめるよう班分けを行い町民がウィンタースポーツに親しみやすい環境をつくる。

(2) 町民のスポーツ振興・拡充推進

① 市町村対抗スポーツ大会参加と競技力向上

- 第20回市町村対抗軟式野球大会 開催期間：9月～（県内野球場）
- 第13回市町村対抗ソフトボール大会 開催期間：10月～（相馬市）
- 第38回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）
・期日：11月15日（日） 開催場所：白河市～福島市
- 市町村対抗スポーツ大会参加町代表選手団に激励金・交付金を交付することで、練習や大会に参加しやすい環境づくりを支援し、選手団を強化する。

② 三春町体育協会・三春町スポーツ少年団の支援と事業活性化

- スポーツ振興の充実に向けた取組みの継続・強化のため、活動交付金の交付
- 三春町体育協会（14団体）へ町補助金・交付金の交付による事業の活性化、自主的活動の支援
- 三春町スポーツ少年団（15団体）へ町補助金・交付金の交付による事業の活性化、自主的活動の支援、青少年健全育成環境の充実

③ 新たな部活動環境の構築に向けた地域展開の実現

- 国の部活動地域展開指針により、中学校の部活動を段階的に活動主体を地域に移行する。
- 町内中学校運動部活動を指導協力する人材バンク登録者の確保（9月1日現在、31名）及び指導者の資質向上のための養成講習会の開催
- 部活動地域移行のあり方を検討するための検討委員会の開催（年2回）
【三春町部活動地域展開検討委員会委員】（任期：令和9年3月31日まで）

草野 エリ	橋本 佳知	佐久間美智子	佐久間いつ子	三瓶 清友
鈴木 健一	佐久間和守	佐久間 眞	阿部 博晃	穂本 哲哉
佐藤 知巨	高橋 宏信	渡辺 悟	村田 稔	

(3) 社会体育施設管理運営と利便性向上及び施設の長寿命化

① 社会体育施設管理運営と利用環境の充実

- 町民、町内小中学校・田村高校部活動、三春町スポーツ少年団・三春町体育協会活動、町外利用者等が施設を使用し、スポーツとレクリエーションの機会を提供する。

(社会体育施設)

日本化学スポーツアリーナみはる(町民体育館)、町営運動場、
運動公園談話室、町営野球場、町営テニスコート、町営貝山プール、
貝山ランニングロード、町営ボート場、町民第2体育館

○ 施設使用期間

- ・町民体育館等使用期間 : 通年(休館日: 月曜日、祝日等の翌日、年末年始)
- ・町営貝山プール使用期間: 7~8月 夏季休暇中一般使用
- ・町営ボート場使用期間 : 年間随時 登録団体が使用

② 学校体育施設の開放事業

- 登録要件を満たした団体に学校体育施設を開放(9月1日現在: 42団体)。

③ 社会体育施設の長寿命化のための改修工事

町民体育館スポットエアコン電源引込工事: 町民体育館アリーナに移動式スポットエアコンを接続するため、100V電源の引込工事を施工。

三春町歴史民俗資料館

[歴史民俗資料館・自由民権記念館・郷土人形館・文化伝承館]

1 基本方針

- (1)三春町の歴史・文化を伝承することで、歴史と文化のまちづくりを推進する。
- (2)地域の宝である歴史・文化遺産を調査し、重要なものについては次の世代に伝えるために保存の措置を講じたうえで、その活用を図る。
- (3)それらに関する情報をわかりやすく発信することで、町民の文化への関心や生涯学習の意欲が高まるよう支援する。
- (4)歴史・文化遺産を保存・継承する団体や、地域・学校などの機関と連携して、豊かな社会と人が育つよう支援する。

2 推進事項

(1) 文化財保護の推進・支援

①文化財調査の推進

地域に伝わる歴史・文化遺産を調査することでその価値を明らかにし、特に重要なものを文化財に指定するとともに、未指定を含め関連する歴史・文化遺産を体系づける。

②文化財保護の推進・支援

- 国・県・町指定等文化財の保護・保存を図るための事業を推進する。
- 国指定天然記念物「三春滝ザクラ」の草刈り、施肥等管理をする地元の保存会を支援し、病虫害や積雪による被害を予防するための巡視等を専門業者に委託する。また、包括連携協定に基づき、国立遺伝学研究所のゲノム解析に協力する。
- 国登録文化財「旧吉田家住宅主屋・紫雲閣」を保存・管理し、その利活用をはかる。
- 民俗芸能や天然記念物等の文化財を保存・継承する団体を支援し、公開を促進する。
- 「文化財防火デー」を実施するほか、文化財の防災・防犯を推進する。
- 埋蔵文化財と開発事業の調整を図り、試掘調査や分布調査を実施する。

③三春町文化財保存活用地域計画の認定及び運用

昨年度までに作成した計画原案について文化庁の認定を受け、町民への周知を図り、計画に則って文化財保護を推進する。

④三春城跡調査の推進

三春城跡の国史跡指定に向け、三春城跡調査指導委員会を開催し、三の丸地区の試掘調査等を実施する。

⑤文化財保護審議会による提言の活用

専門的な知識を持つ委員による文化財保護審議会を開催し、提言を受けるとともに、委員らによる講演会等を開催し、文化財に対する町民の理解を深める。

(2) 文化財の保存・公開施設の管理運営

①保存・公開施設の適正な管理運営

老朽化しつつある資料館をはじめ、古い建築物を利活用する人形館・伝承館の施設・

設備を適切に管理・修繕し、長寿命化を図る。

②三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館（三春町字桜谷 5）

経常的な管理業務のほか、合併浄化槽を新設し、その用地を測量、用途変更する。

③三春郷土人形館（三春町字大町 30）

シルバー人材センターに清掃管理を委託し、収蔵資料の適切な管理、展示の充実に努める。また、展示収蔵施設以外の利活用について検討する。

④三春町文化伝承館・紫雲閣（三春町字大町 82）

生涯学習支援ボランティアの会とシルバー人材センターに清掃管理を委託するとともに、展示や公演などを継続的に開催することで、伝統的な建築物の利活用を推進する。

⑤歴史民俗資料館運営協議会による意見の活用

各施設の運営や事業について協議し、意見を受けることで、適正な運営を図る。

⑥歴史民俗資料館友の会支援

会の活動を支援し、町民の歴史・文化に対する関心を高め、その愛好者の拡大を図る。

(3) 展示公開・各種講座・広報活動の充実

①常設展・企画展の充実

- 春季企画展「新収蔵資料展」4月4日～5月31日
- 秋季企画展「三春のゆかしき宝物」10月10日～11月29日
- 令和9年度春季企画展「(仮)三春藩の明治維新」の開催準備

②所蔵資料管理の推進

寄託資料の更新事務や所蔵資料の整理・登録を進める。また、町指定文化財でもある「雪村筆奔馬図」の装幀を修繕する。

③各種講座・出版物等の充実

- 歴史講座、体験講座等の講座を開催するとともに、各種団体等からの依頼（出前）講座に対応する。
- 草川状を紹介する冊子や町内の絵馬を活用したグッズを、制作・頒布する。

(3) デジタルミュージアムの推進

三春の歴史文化遺産のデジタルデータ化を進めるとともに、伝統芸能・行事を撮影・編集して、映像や動画として館内やホームページ等で公開する。

(4) 学校・各種団体との連携

学校の教育課程での児童・生徒の見学を受け入れるとともに、学校をはじめとする各種団体の要望に応じて出前講座を実施する。

3 歴史民俗資料館関係委員

(1) 文化財保護審議会委員（任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日）

廣田吉三郎	佐久間保一	田母野公彦	石田 智子	小松 賢司
-------	-------	-------	-------	-------

(2) 歴史民俗資料館運営協議会委員（任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日）

渡辺 安里	長田 城治	岡 友子	圓谷 彰孝	飛田 立史
田村 信也	白岩 新一			

三春町民図書館

1 基本方針

身近にある「みんなの図書館」として、
くらしや文化など、日常生活に役立つ情報を
積極的に発信する。



- (1) みんなが本に親しみ、日常生活に役立つ図書館をめざす。
- (2) 利用者の要望を把握し、図書館業務に反映させていく。
- (3) 三春の歴史と文化を継承し、豊かな社会づくり、人づくりを支援する。
- (4) 各地域へのサービス体系を整備する。
- (5) 学校との連携を図り、学習への支援を行っていく。

2 推進事項

(1) 図書館活用推進

町民図書館は、家と職場・学校の間を指す「第3の居場所」として、さらに日常生活に役立つ図書館としての機能を高め、地域の課題解決の場を目標として町民の図書館活用を推進する。

① 利用者に親しまれる環境づくり

※平日の開館時間延長

- ② 有用図書資料の収集・維持管理
- ③ 広報活動やレファレンスサービス（調べもののお手伝い）の充実
- ④ 図書館協議会開催

(2) 利用者サイドに立った図書館運営

図書資料のリクエストや予約などを通じて、より効果的な図書資料の収集及び整備の充実を図る。さらに、資料横断ネットワークへの参加により、より広範囲なサービスの提供を行う。

- ① 予約・リクエスト・相互貸借の充実
- ② インターネット予約・蔵書検索サービス利用推進
- ③ 県立図書館情報ネットワーク活用
- ④ 国立国会図書館総合目録ネットワーク活用
- ⑤ 電子書籍に関する研究

(3) 歴史・文化を継承した社会づくり

三春の歴史と文化を継承し、豊かなまちづくり、ひとづくりを支援するために、将来を担う子どもたちに対するサービスを重視し、読書相談などのサービスの向上に努め、各種行事を実施する。

- ① 郷土資料・行政資料・参考図書の充実
桜ホールの利活用（出張コーナー・郷土資料コーナー）等
- ② 読書習慣・読書意欲向上のための情報提供及びイベントの開催

情報の提供…新刊案内・テーマ展示案内等
 各種イベント…絵本とわらべ唄、館内おはなし会等
 館外活動…ブックスタート、出前おはなし会等

- ③ 読書活動推進のためのボランティアの育成
 朗読講習会等

(4) 各地域へのサービス充実

地域文化活動や教育活動に対して、図書の団体貸出しを行い読書活動を推進する。また、地区交流館等図書室への配本や、町内の各小学校・保育所・幼保園などへの巡回文庫の貸し出しにより、いつも身近に本がある環境の充実に努める。

- ① 学校・施設・ボランティアへの団体貸出し
- ② 地区交流館図書室の資料の充実

※地区交流館図書室へのテーマ展示配架（年４回）

(5) 学校及びその他の教育施設との連携・学習支援

子どもの知的活動を増進するため魅力的な図書資料の整備・充実を図り、各小中学校との連携を図りながら、必要な図書資料の整備や情報提供を行う。

- ① 職業体験・図書館見学受入れ推進
- ② 学校における学習支援のための図書資料等の充実
- ③ 子ども読書活動の推進について

【基本方針】

- １ 子どもが読書に親しむ機会の充実
- ２ 子どもの読書のための環境の整備
- ３ 子どもの成長過程に応じた読書活動の推進

３ 図書館協議会委員（任期：令和６年１１月１日から令和８年１０月３１日）

橋本 清二	辻 裕	宗像 淳子	長谷川ちえ	横田和典
-------	-----	-------	-------	------

IV 子育て支援課

1 三春町の就学前保育に関する基本理念

(1) 乳幼児期の特性を踏まえた保育の在り方

人生を大樹に例えた場合、その出発点である就学前の保育は、人として生きていくための揺らぐことのない、しなやかで力強い「根っこ」を育てる教育といわれる。芽吹いて間もない若葉が根付くためには、柔らかな土壌と暖かな環境とが不可欠であり、安全な環境において、保育者との間に適切な愛着関係を構築し、安心感を得ることができる環境を整備する。

(2) 就学前保育の基本理念

基本理念：「子どもの“生きるちから”を育む」

子どもたち一人ひとりの良さと可能性を伸ばしていくことで、一人ひとりが夢や希望を持ち、社会でよりよく生きていくための力、「子どもの“生きるちから”を育む」ことを基本理念とする。

(3) 基本理念を実現するための基本となる視点

家庭や地域社会とも連携して、子どもたちの心身の健やかな成長に不可欠な望ましい生活習慣や態度を身に付けさせるとともに、集団生活の場ならではの学び（自発的な活動としての遊び）をとおして、子どもたちの“生きるちから”を育む。

そのために必要な支援を「安心」「自信」「自立」「協調」の4つの視点を念頭に、子どもの発達特性と学びや生活の連続性を考慮しつつ適切に取り組む。

(4) 国の要領・指針との関係

町が特に大切にしていきたいと考える就学前教育・保育の基本理念と、これまで各就学前教育・保育施設が実践のなかで積み上げてきた自主的で創造的な教育・保育目標を柱に、子ども一人ひとりに対して、それぞれの時期にふさわしい教育・保育を積み重ねていくことで幼稚園教育要領や保育所保育指針に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の実現に努める。

(5) 町内就学前保育施設間の連携

平成29年度に告示された「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」及び「幼保連携型認定こども園保教育・保育要領」により、3歳以上の子どもについて保育所、幼稚園、認定こども園に共通した教育目標が示されたことを踏まえ、町内の就学前教育・保育に関わる施設間相互の話し合いや研修の場を設けるなど連携を強化する。

保育グループ

1 基本方針

就学前教育・保育施設は、子どもが人間形成にとって極めて大切な時期に、その生活の大半を過ごす場であり、子どもが安全に過ごせるための環境整備と職員の資質向上を図るとともに、関係機関と連携しながら、町の就学前教育・保育に関する基本理念に基づき、子どもたち一人ひとりを大切にした良質な保育を実践する。

2 主な実施事業

(1) 安全安心な保育環境の実現

・入所児の健康維持に係る事業（感染症予防の指導、実施、フッ化物洗口事業、給食食材の放射性物質測定、検診の実施）

(2) 保育サービスの充実・強化

・延長保育事業（時間外保育事業）
・預かり保育事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり）
・保育施設への適正な給付事務の実施（子どものための教育・保育給付事業）

(3) 子育ての経済的負担の軽減

・保育料及び副食費の負担軽減に係る事業

3 職員体制（令和8年4月1日）

子育て支援課	課長（事務職）
子育て支援グループ（6名）	グループ長（事務職）、事務職1名、保育士1名、保健師2名、会計年度任用職員1名（事務職）
子育て支援センター（5名）	保育士2名、会計年度任用職員2名（保育士）、会計年度任用職員1名（事務職）
保育グループ（3名）	グループ長（事務職）、事務職2名
岩江こども園（28名）	園長（保育教諭）、保育教諭19名、会計年度任用職員8名（保育教諭）
北保育所（5名）	所長（保育士）、保育士3名、会計年度任用職員1名（保育士）
第1保育所（21名） ※指定管理	所長（保育士）、保育士11名、保育補助2名、看護師1名（兼務）、管理栄養士1名（兼務）、事務1名（兼務）、調理員4名
第2保育所（23名） ※指定管理	所長（保育士）、保育士13名、保育補助2名、看護師1名（兼務）、管理栄養士1名（兼務）、事務1名（兼務）、調理員4名

※指定管理者：公益財団法人 星総合病院

4 町立施設

施設名	所在地	電話番号	備考
岩江こども園	三春町大字上舞木字戸ノ内 121-1	024-956-2727	幼保連携型認定こども園
北保育所	三春町大字北成田字殿ノ内 150	62-4133	認可外施設
第1保育所	三春町担橋一丁目 4-1	62-3839	認可保育所（指定管理）
第2保育所	三春町大字貝山字泉沢 100-1	62-2748	認可保育所（指定管理）

5 民間施設

施設名	所在地	電話番号	備考
認定こども園三春幼保園	三春町大字貝山字岩田 100	62-2548	幼保連携型認定こども園
L-kid's 保育園三春	三春町大字山田字クルミヤツ 15-2	61-6605	小規模保育施設

6 町内就学前保育施設の児童数一覧（令和8年4月1日）

施設名	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
岩江こども園	177	1	11	13	34	33	26	118
北保育所	40				1	4	4	9
第1保育所	120		8	15	12	19	22	76
第2保育所	115	3	12	20	12	17	22	86
認定こども園三春幼保園	137	2	6	9	11	9	16	53
L-kid's 保育園三春	19	2	5	5				12

※認定こども園三春幼保園の人数は三春町民のみの人数。

岩 江 こ ど も 園 〒963-7732

三春町大字上舞木字戸ノ内121-1

TEL 024-956-2727

FAX 024-983-8399

園 長 新野 久美子

園児数 118名

学級数 8

教職員数 28名

<こども園の教育目標>

- 明るく元気な子ども
- 自分で考えて行動する子ども
- 心豊かで思いやりのある子ども

<本年度の重点目標・努力目標>

- ①健康な体を育成する。
 - ・体を十分に動かして遊び、安全に気をつけて行動できる子どもを育てる。
 - ・基本的な生活習慣を身につけ、自分からあいさつできる子どもを育てる。
- ②身近な環境に主体的に取り組む力を育成する。
 - ・人の話をよく聞き、自分で考えて行動する子どもを育てる。
 - ・1人でもまた友達と一緒に、最後までやり遂げようとする子どもを育てる。
- ③人や環境とかかわる力や豊かな心を育成する。
 - ・身近な大人や友達とのかかわりの中で、相手の思いにも気づき、思いやりや感謝の気持ちをもてる子どもを育てる。
 - ・様々な体験活動を通して、社会生活における望ましい習慣や態度を身につけた子どもを育てる。

<特色ある教育活動>

- ①0・1・2歳児の保育は、一人一人に寄り添った家庭的できめ細やかな保育を行っている。
- ②3・4・5歳児の保育は、子ども一人一人がありのままの自分を大切にされていると感じ、安心して、その子らしく、物・人・環境と関わっていくことを十分に保証する保育を行っている。
- ③岩江小学校・地域との円滑な連携を図っている。
- ④全ての子どもたちが地域で共の育つ場となるよう、多様な子どもたちの個々の発達に合わせた保育を行っている。
- ⑤園での様子をドキュメンテーション化し、メールで配信したり、掲示したりして保護者との共有を行っている。



<自園調理の給食>



<園庭あそび>



<秘密基地にもなる絵本の棚田>

北 保 育 所

〒963-7781

三春町大字北成田字殿ノ内 1 5 0

TEL 0247-62-4133

FAX 0247-62-4133

所 長 工藤 綾子

児童数 9名 クラス数 2 職員数 5名

<目指す子ども像>

- 明るく元気な子ども
- よく見、よく聞き、よく考えて行動する子ども
- 心豊かで、思いやりのある子ども

<保育方針>

◎生きる力の基礎を育む保育

- ① 一人ひとりを大切にする保育
- ② 心身の健康の基礎を養う保育
- ③ 子どもの主体性を大切にする保育
- ④ やさしさや思いやりの気持ちを育む保育
- ⑤ 地域社会の中で、保護者と共に育む保育
- ⑥ 保育士等の専門性を生かし、養護と教育を一体的に行う保育

<重点目標>

- ① 基本的な生活習慣を身につけ、返事やあいさつができる子どもを育てる。
- ② 十分に身体を動かして遊び、安全に気をつけて行動できる子どもを育てる。
- ③ 食と健康について興味をもち、よく食べる子どもを育てる。
- ④ 人の話をよく聞き、よく考え、自分の思いを発信できる子どもを育てる。
- ⑤ 保育者や友達との関わりを深めながら、様々な活動を楽しみ、何事にも意欲的に取り組む子どもを育てる。
- ⑥ 自分の考えたことをのびのびと表現し、相手の思いにも気づける子どもを育てる。

<特色ある保育活動>

- ① 目の行き届きやすい環境で、一人ひとりの発達に合わせた保育を行う。
- ② 小規模保育所という特色を生かして、異なる年齢の子どもが交流し、思いやりや憧れの気持ち、社会性を育む。
- ③ 自然豊かな地域性を生かして、四季の変化を体感したり、近くの畑で野菜の栽培に取り組み、農家の方と触れ合いながら生長や収穫の喜びを味わったりする。
- ④ お月見会、団子さしなど、季節や伝統行事を通じて豊かな心を育む。
- ⑤ 年齢に応じた運動遊びや散歩を計画的に取り入れ、基礎体力を高める。
- ⑥ エコへの取り組みを通して、地球環境を想う優しい心を育む。



<地域の方といもほり>



<ちびっこたんけんたい>



<団子さし>

第 1 保 育 所

〒963-7769

三春町担橋一丁目4番地の1

TEL 0247-62-3839

FAX 0247-62-3862

所 長 野内 由夏

児童数 76 名

クラス数 5

教職員数 21 名

<保育理念>

地域とともにたくさんの愛情で一人一人を大切に見守り、共に喜ぶ保育を目指します。

<保育方針>

- ① 健康、安全、衛生を運営の基本とした保育
- ② 子どもそれぞれの発達に応じた保育
- ③ 基本的な生活習慣が身につく保育
- ④ 友達を大切に思う心を育てる保育
- ⑤ 自分の思いを素直に表現できる保育
- ⑥ 自然に触れ合い自然を大切にする保育
- ⑦ 体験活動を充実させ、地域の方々と積極的に交流する保育
- ⑧ 保護者の意向を受け止め、保育に関する相談に応じ、一緒に考える保育

<目指す子ども像>

- 健康で明るく伸び伸びとした元気な子ども
- 身の回りのことを自分でできる子ども
- よく見て、よく聞き、考えて、自分の思いを伝えられる子ども
- 思いやりのある子ども

<重点目標・努力目標>

- ① 交流体験により様々な人との関わりを持ち、楽しく過ごせるようにする。
- ② 体験・経験したことで感じた自分の思いや考えなどを自分の言葉で伝えられるようにする。
- ③ 様々な体験を通して、好奇心や探求心を持ち、想像性・創造性を発揮できるようにする。
- ④ 集団で活動することで、心やさしく相手を思いやれるようにする。

<特色ある保育活動>

- ① 1歳児から5歳児までが入所し、一人ひとりの成長に合わせた環境設定と保育の充実。
- ② 預かる保育から、育てる保育への転換として遊びで学び集団で育てる保育の推進。
- ③ 母体が病院という環境を活かし、多様な機能、充実した保育の展開と他施設との交流。野菜の収穫などの体験活動・食育活動。
- ④ 地域に密着した保育として地域の行事参加、三春町内の施設訪問、小・中学生との交流。町内施設への子どもたちの作品展示。



【 みはるっ子まつり 】



【 おはなしこすずめ 】



【 祖父母参観 】

第 2 保 育 所

〒963-7719

三春町大字貝山字泉沢 1 0 0 番地の 1

TEL 0247-62-2748

FAX 0247-62-2755

所 長 上石 智美

児童数 88名

クラス数 6

教職員数 23名

<保育理念>

地域とともにたくさんの愛情で一人一人を大切に見守り、想像力を育て共に喜べる子どもを目指します。

<保育方針>

- ① 健康、安全、衛生を運営の基本とした保育
- ② 子どもの発達に応じた保育
- ③ 基本的な生活習慣が身につく保育
- ④ 友達を大切に思う心を育てる保育
- ⑤ 自分の思いを素直に表現できる保育
- ⑥ 自然に触れ合い自然を大切にする保育
- ⑦ 体験活動を充実させ、地域の皆さんと積極的に交流する保育
- ⑧ 保護者の意向を受け止め、保育に関する相談に応じ、一緒に考える保育

<目指す子ども像>

- 健康で明るく伸び伸びとした元気な子ども
- 身の回りのことを自分でできる子ども
- よく見、よく聞き、考え、自分の思いを伝えられる子ども
- 思いやりのある子ども

<重点目標・努力目標>

- ① 交流体験により様々な人との関わりを持ち、楽しく過ごせるようにする。
- ② 体験・経験したことで感じた自分の思いや考えなどを自分の言葉で伝えられるようにする。
- ③ 様々な体験を通して、好奇心や探求心を持ち、想像性・創造性を発揮できるようにする。
- ④ 集団で活動することで、心やさしく相手を思いやれるようにする。

<特色ある保育活動>

- ① 0歳児から5歳児までが入所し、一人ひとりの成長に合わせた環境設定と保育の充実。
- ② 預かる保育から、育てる保育への転換として遊びで学び集団で育てる保育の推進。
- ③ 母体が病院という環境を活かし、多様な機能、充実した保育の展開と他施設との交流。野菜の収穫などの体験活動・食育活動。
- ④ 地域に密着した保育として地域の行事参加、三春町内の施設訪問、小・中学生との交流。町内施設への子どもたちの作品展示。



<SL 乗車体験>



<さつま芋苗植え>



<豆まき>

(三春町民歌)

【三春町民の歌】

栄えよ 三春

作詞 遠藤年一

作曲 郡司好男

♩=100 はつらつと

The musical score is written on four staves in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. The tempo is marked '♩=100 はつらつと'. The dynamics are marked as *mf* (mezzo-forte) at the beginning, *mp* (mezzo-piano) in the second measure, *mp* in the third measure, *mf* in the fourth measure, and *f* (forte) in the fifth measure. The lyrics are written below the staves.

1. か ぜ さ あ や か に あ た る や ま か わ こ
の つ ち を あ い し こ の お か を ひ ら き さ ん
さ ん じ ゃ う お こ す み ち を の ば そ う あ
— あ さ か え ゆ く わ が み は る ま ち

三

二

一

ああ栄えゆく	平和な理想の	あの空を讃え	あの山を誇り	雲うるわしく
わが三春町	郷を築こう			仰ぐ城趾
ああ栄えゆく	その幸に映えて	その時に映えて	世々つたえきて	薫る歴史の
わが三春町	花を咲かそう			
ああ栄えゆく	その幸に映えて	その時に映えて	世々つたえきて	薫る歴史の
わが三春町	花を咲かそう			
ああ栄えゆく	その幸に映えて	その時に映えて	世々つたえきて	薫る歴史の
わが三春町	花を咲かそう			

三 春 町 教 育 委 員 会

〒963-7796

福島県田村郡三春町字大町 1 番地の 2

事務局：教育課 TEL 0247-62-6310

FAX 0247-62-6000